

箱根町第6次総合計画 前期基本計画 実施計画
令和元年度 施策別評価結果に対する総合計画審議会意見一覧

令和2年11月10日作成

項目	意見
社会保障の充実 【施策6】	町内の介護保険サービスは6事業者程度で、現状、介護保険の認定を受けてもサービスを利用し難い状況が伺えるのですが、今後、町としてどのように取り組んでいきますか。
	町内の施設不足や事業従事者不足は以前から伺っており、行政ができることを探して取り組んでいます。十分に成果に表れていない状況だと思えます。数年後には2025年問題と言われていの中で、非常に大きな課題であるという認識です。
ワーク・ライフ・バランスの実現 【施策7】	新型コロナの影響でリモートワークの導入が進んでいる中、特に箱根町は地域が点在しており施設の集約化が困難であったと思いますが、リモートワークを活用すればワーク・ライフ・バランスの改善に繋がっていくと感じます。
	休暇を取得し易くなったり、自宅で仕事したり様々なパターンが考えられますので、是非、研究いただきたいと思えます。
学校教育の充実 【施策8】	教育委員会は非常に力を入れており、実際にこの評価のとおり、各事業は概ね計画通り、適正に実施していると思えます。
	実施計画事業16番の高等学校等通学費補助事業については、教育委員会としてできる限りのことに努めていますが、町民の方が十分に満足できる額まで補助できていない部分もあります。
	目標指標の達成状況が十分でない中で実施計画事業が全て課題なしとなっていると、町民がどのように受け止めるかという視点では、誤ったメッセージを送ってしまう可能性もあります。
	評価を変更するべきということではなく、そのような視点も意識して評価したかを含め、見え方の問題として確認しました。
男女共同参画・人権尊重の推進 【施策15】	本日の審議会は委員10名中、女性が2名ですが、町では、このような会議での男女割合はどのように考えていますか。
	その他指標で、対象の審議会等での女性委員比率の状況を、毎年度、把握しています。令和元年度は20.5%ですが、男女共同参画の計画で目標値30%と定め、進捗を管理しています。
	国の目標も3割ですが、明確な根拠はないと思えます。5割であれば本当は分かり易いですが、目標設定として難しい部分があると思えます。
	目標設定の考え方なり、女性の割合を増やす手法は非常に課題ですが、引き続き、検討していただきたいです。

項目	意見
男女共同参画・人権尊重の推進【施策15】	LGBT※などジェンダーに関すること、人権関係の取組みがなく、当然、次の後期基本計画には検討すべきと感じていますが、既に社会では動いていますので、後期基本計画を待たず取組みを始めていくことも重要ではないかと思えます。 ※LGBTとは、レズビアン・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダーの頭文字をとった言葉で、性的少数者の総称の1つのこと。
住環境の整備【施策18】	箱根町でも、コロナの影響で別荘に滞在している方が増えているようなので、テレワークで可能な仕事の方は箱根町に定住してもらうことが人口減少対策になると思えます。 国の方針としてもテレワークを推進していますので、地方への移住希望者が増えることを見越して箱根町も取り組んでいけば、将来的な人口減少の歯止めになると考えます。
防災対策の推進【施策25】	やまなみ荘が避難所となることは少なく、強羅地区の住民は、さくら館に避難することとなります。強羅から宮城野までの距離を考えると、やまなみ荘で開設してほしい気持ちがあり、大雨や非常時に必ずそのような話題が出ます。 強羅自治会としてやまなみ荘に非常食を備蓄していますので、そのことも含めて検討していただきたいと思えます。
観光拠点整備と魅力向上【施策29】	浜松市の「はままつフラワーパーク」は、一時期、経営難に陥っていたようですが、公募で採用した女性経営者が相当の手腕を発揮して非常に安定したということで、経営的な視点で知恵を出して取り組むことも必要ではないかと感じました。
計画的な行財政運営【施策34】	今年度の基準地価は軒並み下落とのことで、来年度が評価替えであることも踏まえると、固定資産税の税収に非常に大きな影響があります。総合計画の円滑な推進にも影響しますので、財源確保に努めてもらいたいと思えます。
実施計画事業のない施策について	施策7は非常に重要な取組みであり、全ての働く人達がワーク・ライフ・バランスを充実していかなければならないと思えますが、実施計画事業は何もありません。また、施策12も実施計画事業がありません。 施策を位置付けているのに実施計画事業がないのは、少し違和感があります。無理に事業を作るべきではありませんが、施策の単位やくくりが適当かも含め、後期基本計画に向けて検討していただきたいと思えます。
施策の取組み姿勢について	厳しい意見になりますが、育児休暇や男女共同参画、移住についても、全体的な姿勢が受け身で待っているだけのように感じ、町からのアクションが足りないのではと思いました。 空き家バンクを作ったから良いのではなく、私の勤務先で結婚する方は小田原市等に住む方が多いですが、企業に対して箱根町の物件情報が提供されれば変わっていくと思えますので、全体的に積極的なアクションがほしいと感じました。